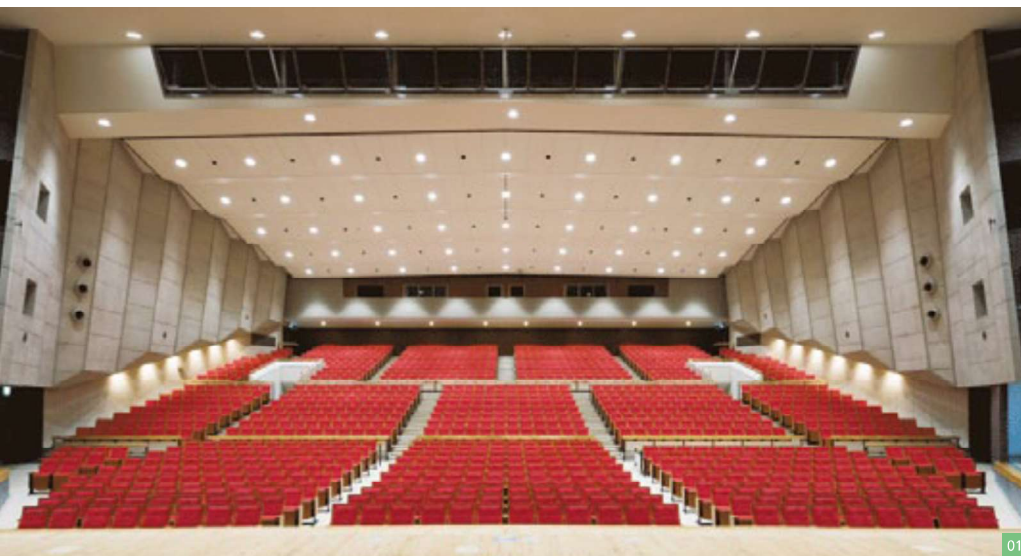


文化・スポーツ施設

Culture, Sports facilities

心豊かに文化やスポーツと触れ合う

地域の活性化のための取り組みとして、文化・スポーツ施設の整備に力を入れています。郷土が誇る偉人の偉業を語り継いだり、スポーツを通じて市民の健康増進を図るためにつくられた施設が、市民の生活を豊かにしています。



01 → イスのサンケイホール鈴鹿(鈴鹿市民会館)

コンサートや演劇などのほか、各種大会、式典の開催にも利用できる施設。ホールの客席数は1,275席(車イス利用者用のスペース7台分を含む)です。また、2階には会議や展示会に利用できる展示室があります。

03 → 鈴鹿市立図書館 (写真は江島分館)

総蔵書数35万冊以上を誇ります。本館には一般閲覧室、児童閲覧室、学習室に加え、読み聞かせができるおはなしのへやなどがあり、講座や映画会など多種多様なイベントも開催しています。また、江島には児童図書を多く集めた分館もあります。

05 → 佐佐木信綱記念館

唱歌「夏は来ぬ」の作詞者として知られる、歌人で国文学者の佐佐木信綱。この記念館には、文化勲章をはじめ、信綱の著作や遺品、原稿を展示する資料館や生家、土蔵、文庫があります。

02 → 鈴鹿市文化会館

館内には舞台と500席の客席を備えるけやきホールや多目的スペースのさつきプラザがあります。また、他にも研修室・調理室・音楽室・和室などがあり、多目的な利用ができます。

04 → AGF鈴鹿体育館

室内スポーツができる正・副体育館とトレーニング室があります。「三重とこわか国体」の開催に向け改修工事を行い、2020年4月にリニューアルオープンしました。

06 → 大黒屋光太夫記念館

江戸時代にロシアに漂流し、西洋文化を経験して帰国した初めての日本人、大黒屋光太夫。この記念館では、光太夫関係の古文書や遺品、肖像画などが収蔵・展示され、季節ごとに企画展も開催されています。